

# 平成27年度 第2回水と緑の森づくり会議

とき 平成27年11月4日(水)

## 1 議題

4～10月の水森事業の報告について

?

## 2 意見交換

## 再生の森事業

### 1 目的

水を育む緑豊かな森を次世代に引き継ぐため、森林所有者等と締結した協定に基づき不要木の伐採等を行い、荒廃森林を再生させる。

### 2 概要

◇公益的機能を有し、10年以上間伐等の森林整備が行われていない高齢級（植栽後36年生以上）の森林において不要木の伐採などを行い、荒廃した森林を再生させる。

対象林	○ 10年以上間伐未実施の36年生以上の人工林
	○ 人家・田畑等に侵入する竹の発生源の竹林
	○ 松くい虫被害にあい放置された森林
協定締結	森林所有者+県 委託実施の場合はこれに森林組合等（林業事業体など含む）を含めた3者協定とし森林組合等は協定期間中の見回り管理等を実施。
内容	○ 不要木の伐採：本数率30%以上の不要木の伐採
	○ 広葉樹植栽：不要木の伐採を行った跡地に必要に応じて広葉樹を植栽
	○ 侵入竹林伐採：人工林に侵入した竹林の伐採
	○ 保険加入：不要木の伐採を行った森林を対象に森林国営保険へ加入
	○ 管理道開設：森林の維持管理のための簡易な道路の開設
	○ 竹林伐採：人家や田畑等に侵入する竹の発生源竹林の伐採
	○ 抵抗性マツの植栽：松くい虫被害にあい放置された森林への抵抗性マツ植栽
	○ 森林境界確認：境界が不明確な森林で不要木伐採を行うため、境界の確認を行う
	○ 危険木搬出：不要木の伐採で発生した木の流出による災害を防ぐため、不要木伐採で発生した木を搬出する。

\_\_\_\_\_は平成27年度新規項目



みーもくん



みーなちゃん

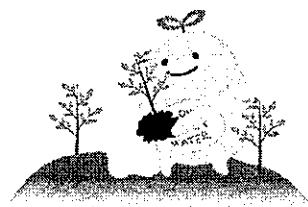
# みーもの森づくり事業

## 1 目的

島根の森は、清らかな水を育む一方、洪水や土砂災害を防ぐなど、多くの役割を果たしている。

県民共有の財産であり、未来からの預かり物である緑豊かな森を県民自らのアイデアと参加で育み、次世代に引き継ぐことを目的とする。

事業名は、島根の水と緑のシンボルキャラクター「みーもくん」が好んで暮らせるようなきれいな森林が増えることを願って「みーもの森づくり事業」とした。



## 2 概要

県民自らが企画・立案した森づくりのための植栽活動や県産木材を使う取り組み、森林環境学習活動を支援

区分項目	森を保全する取組	森を利用する取組	森で学ぶ取組 (みーもスクール)
内容	<p>緑豊かな森と身近な森を再生するための取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○森林内の植林、下草刈り、枝落し</li> <li>○森林公園や自然公園周辺の整備</li> <li>○森林教室、樹木実習など</li> </ul>	<p>県産木材を活用し県民への利用を促す取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○公共性が高く、身近なところで県産材及び木質バイオマスなどを利用する取組</li> <li>○県産材及び木質バイオマスなどの利用方法を習得する機会を創出する取組</li> <li>○広く県民が森林にふれあう機会の創出、森林作業を体験する機会を創出するなどの取組</li> </ul>	<p>小中学校で継続的に森林環境教育を行う取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○小中学校と連携して、授業の中で継続的（3回以上）に森林環境学習を実施する取組</li> </ul>
事業主体	NPO、ボランティア団体、市町村、自治会、森林組合、林業事業体、企業、その他団体		
交付率	1/2 以内 ただし、自ら実施が困難な地拵え等の作業委託経費などは 10/10 以内	1/2 以内 ただし、県産材料代は 10/10 以内 自ら実施が困難な作業委託経費は 10/10 以内	1/2 以内 ただし、講師謝金、スタッフの賃金、消耗品は 10/10 以内
交付金上下限	500～2,000 千円。 ただし、過去の 4 年以内の事業の継続実施は、上限 50 千円、植栽後の下刈り、竹林伐採後の管理については 200 千円を上限とする（過去の 1 年 1 事業上限 50 千円：5 万円 × 4 事業箇所=200 千円）		200～1,600 千円 ただし、上限 1 校 400 千円、1 団体 4 校まで

※継続事業には、再生の森事業で竹林伐採を行った箇所を含む

\_\_\_\_\_は平成 27 年度新規事業

1. 森づくり情報発信業務委託

①情報誌(みーも通信)発行

夏号 (Vol.41) 7月1日発行 (23,000部)

秋号 (Vol.42) 10月1日発行 (24,000部)

冬号・春号 各26,500部発行予定

②各イベントへのPR出展

8月23日 アマゾン大冒険 in 松江 (松江市)

9月6日 ゆめタウン益田 (益田市)

10月25日 森びとプロジェクト in 匹見 (益田市)

(以下予定)

11月3日 BB大鍋フェスティバル (浜田市)

11月7日 おとめ在月 (松江市)

12月13日 しおかぜ駅伝 (浜田市)

3月 春のBSSまつり (松江市)

【内容】木工体験(間伐材の端材を使って)、芳香袋づくり(間伐材利用ペレット)、みーも通信・ノベルティ(マスキングテープ)配布、みーもくん出演、体験サイネージ(電子看板)による啓発広報

※各イベントに島根県森林インストラクター数名が参加予定。

※ゆめタウン益田のみ、白築純さんのライブ&ワークショップ

③年間広報(新聞・タウン誌・SNS)

・新聞やタウン誌にみーも通信やイベントの広報。

・みーもくんツイッターやフェイスブックでノベルティ紹介などを発信



割箸鉄砲作り



ライブ&ワークショップ



薪割り体験

2. みーもサマースクール

○子ども達への森林体験教育

・ふるさとの森(飯南町) 7月8日~9月4日の平日

幼稚園、保育所、学童クラブ、子ども会、スポーツクラブ等の団体が対象

25回開催 活動内容 森と川の自然かんさつ 12回

自然工作と川のかんさつ 6回

森の自然かんさつと自然工作 5回

ネイチャーゲームと自然工作 2回

※活動内容は参加団体の希望による

参加団体数24 参加者数582名(子供500名 大人82名)

・ふるさと森林公園(松江市宍道町) 6月30日~10月9日の平日

特別支援学校、特別支援学級が対象

5回開催 活動内容 森林散策&化粧炭焼きたき火クッキー作り

参加団体数6 参加者数81名(子供51名 大人30名)

- ・ 匹見地内（益田市匹見町） 7月10日～8月20日  
幼稚園、保育所、学童クラブ、子ども会、スポーツクラブ等の団体が対象  
10回開催 活動内容 森と川の自然かんさつ 10回  
参加団体数10 参加者数311名（子供239名 大人72名）

### 3. 県民アンケート調査（島根大学との共同研究事業）

- ・ 調査対象者 島根県内に住む20歳以上の無作為抽出 2,000人
- ・ 調査内容 水と緑の森づくり事業について 等
- ・ 調査期間 平成27年10月9日～10月23日  
※現在島根大学において集計分析中

### 4. しまね森林活動サポートセンター

森づくりの支援を受けたい人（ユーザー）に専門家（サポーター）を紹介、派遣を行う

	平成27年度実績 (10月30日現在)		平成26年度実績	
	件数	人数	件数	人数
・ サポーターの派遣実績	39	128	68	199
派遣内容内訳				
森づくり	3	8	6	17
木材資源等利用	11	35	18	47
森とのふれあい	24	84	43	128
環境緑化	1	1	1	7

# H27みーもの森づくり事業 実施状況等

【森を利用する取組、森を保全する取組】

**No.2 山陰中央新報社(松江市)**  
 地域財産である山林を再生し、次世代に継承する取組み  
 ・10/31の活動への参加者募集記事



**No.7 加茂遊学ファーム(雲南市)**  
 間伐材による交流建屋設置  
 ・利用する材を会員自らが間伐、搬出、運搬、皮むきを実施



**No.9 道の駅頓原緑地公園管理団体(飯南町)**  
 枯損木を利用したベンチ作り  
 ・ベンチ用資材の作成状況



**No.15 吉栗ドリーム(出雲市)**  
 県産材を利用した舞台の設置  
 ・完成した舞台の利用状況



**No.16 古志地区自治協会(出雲市)**  
 子供たちに送る手作り森林教室  
 ・クロマツの植栽実施状況



**No.22 元気はつらつプロジェクト委員会(邑南町)**  
 県産間伐材を利用した東屋の設置  
 ・完成状況および周知チラシ



**No.30 西ノ島町教育委員会(西ノ島町)**  
 県内産ヒノキ製学習机導入事業  
 ・児童による学習機の製作状況



**No.35 大山地区の緑を守る会(出雲市)**  
 H24、H25の継続事業  
 ・下刈りの施行前後



施工前



施工後

【森で学ぶ取組(みーもスクール)】

**No.8 緑と水の連絡会議**  
 大田市仁摩小学校  
 ・石見銀山遺跡の竹の伐採、竹を加工しての杖づくり状況



**No.14 もりふれ倶楽部**  
 松江市母衣小学校  
 ・森林教室、間伐体験等の状況

